

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度 第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会		
開催日時	令和4年11月14日(月) 午後2時から午後3時15分まで		
開催場所	加東市役所 2階 201会議室		
議長の氏名(会長 梅野 巨利)			
出席委員の氏名			
<出席委員>			
・梅野 巨利 ・小倉 康 ・神田 耕司 ・鷹尾 良晴 ・小林 邦子			
・吉田 伊佐見 ・臼井 すず子 ・丸山 美智子 ・村上 加奈子			
<欠席委員>			
・肥田 繁樹			
出席した事務局職員の氏名及びその職			
・市長	岩根 正	・技監	野崎 敏
・上下水道部長	小坂 征幸	・上下水道部管理課長	阿江 英俊
・上下水道部工務課長	西角 昌記	・上下水道部工務課副課長	荻野 克弥
・上下水道部管理課係長	遠藤 祐希	・上下水道部管理課主査	神戸 幸子
・上下水道部管理課主事	藤井 小夜		
傍聴者 なし			
1 報告事項			
(1) 経営戦略の改定について			
(2) 上下水道料金について			
2 会議資料			
(1) 次第、参加者名簿、配席図			
(2) 経営戦略の改定について(資料1)			
(3) 加東市の水道料金及び下水道使用料について(資料2)			
(4) 経営戦略の改定について 資料集			
(5) 経営戦略改定等に関するスケジュール			
3 会議の経過			
⇒別紙「令和4年度第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり			
令和4年12月23日			
会長 梅野 巨利			
会長職務代理者 神田 耕司			

(別紙) 令和4年度 第3回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。</p> <p>2 会長挨拶 会長より開会の挨拶。</p> <p>3 市長挨拶 市長より挨拶。</p> <p>4 報告事項 (1) 経営戦略の改定について 事務局より、資料1に沿って説明を行い、その後に質疑応答を行った。</p>
委員	<p>人口減少による収益減、施設老朽化による費用増、いずれも加東市だけではなく全国的な課題だが、他団体の先進的な事例などについて、情報共有をしているのか。或いは、水道・下水事業の管轄庁から、情報の提供はあるのか。</p>
事務局	<p>全国的な動向としては、現在、国が先導し、経営戦略の策定事例など、経営改善策について、各団体に方向性を示している。それらの先進事例については、総務省にて取りまとめ、公表されている。</p> <p>事例の内容としては、広域化や、民間委託の活用などが取り上げられているが、中核市以上の比較的大規模な団体でなければ同様の取組を行うことは難しい。加東市としては、事例を参考に、できることから改善を進めるよう考えている。</p> <p>その一環として、水道事業のアセットマネジメント計画、下水道事業のストックマネジメント計画の策定、また本日の報告事項でもご紹介する通り、各計画を元にした財政計画の見直しの中で適正な料金を検討する予定である。</p>
委員	<p>(2) 上下水道料金について 事務局より、資料2に沿って説明を行い、その後に質疑応答を行った。</p> <p>大口利用者は、現在、割安で利用していることになるのか。それとも、小口利用者の利用分まで一部負担していることになるのか。</p>
事務局	<p>加東市の水道料金は通増制で口径別の料金体系となっており、小口径の一般家庭に比べて、大口径のメーターを付けている利用者の料金が高くなる。このような料金体制をとる理由として、水道法が求める「公共の福祉を増進する」という目的に沿うため、一般家庭の生活用水利用への配慮が必要であること、また他に、水道の使用量が多い大口利用者により多く施設の費用を負担していただくという考え方があり、一概に大口利用者が小口利用者の分まで負担していると言えるものではない。</p>
	<p>5 その他 事務局より来年度の審議会の日程について、以下の通り説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は2回または3回の実施を予定している。 ・3回目の実施の可否については、1回目の審議会で決定する。 ・詳細な日時については、調整後、改めて伝える。 <p>6 閉会 神田会長職務代理者より閉会の挨拶。</p>